

総合目録共通フォーマット 第2版

国立国会図書館
情報処理振興事業協会

平成9年7月
(平成17年11月改訂)

1. 出力仕様

1.1 記録媒体

記録媒体としては、情報交換用磁気テープ（1/2インチテープ）、3.81mm幅ヘリカル走査記録情報交換用磁気テープカートリッジ（DAT）、5.25インチサイズCD-Rのいずれかを用いる。

(1) 情報交換用磁気テープ（1/2インチテープ）の場合

(A) 記録媒体

- ・磁気テープ^{*1} JIS X 6101に規定されている情報交換用磁気テープ
【テープの幅：12.7mm（1/2インチ）
テープの長さ：732m（2400フィート）】
- ・情報記録様式 JIS X 6105に規定されているGCR方式による12.7mm幅、9トラック、246cpmm、情報交換用磁気テープの情報記録様式（6250BPI）
または
JIS X 6104に規定されている位相変調（PE）方式による12.7mm幅、9トラック、63cpmm、情報交換用磁気テープの情報記録様式（1600BPI）

(B) 形式

・データ形式

- ・ボリューム形式 ラベル無し磁気テープボリューム
- ・ボリューム構成 単一ファイル単一ボリューム



図1 - 1 磁気テープボリュームのデータ形式

- ・レコード形式 可変長ブロックレコード（VB）
 - ・ブロック長 32,000バイト
 - ・レコード長 4,092バイト

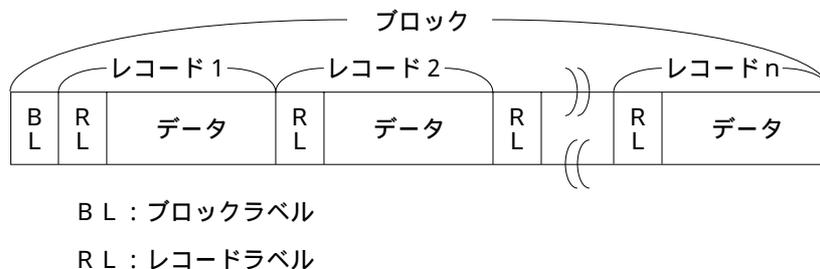


図1 - 2 磁気テープボリューム上のレコード形式

^{*1} 磁気テープの調達については、後報とする。

(2) 3.81mm幅、ヘリカル走査記録情報交換用磁気テープカートリッジ (DAT) の場合

(A) 記録媒体

- ・磁気テープ^{*2} JIS X 6129 に規定されている 3.81mm 幅、ヘリカル走査記録情報交換用磁気テープカートリッジ、DDS-2 様式 (DAT DDS-2)

(B) 形式

- ・ファイル形式 XPG4、POSIX.1 に準拠した tar 形式

(3) 5.25インチサイズ CD-R の場合

(A) 記録媒体

- ・CD-R OrangeBook 準拠、記録フォーマット ISO9660 モード 1、容量 650MB
「Windows 形式 (Romeo、Joliet 等) 及び Macintosh 形式など、特定の OS に依存する独自形式は不可」

(B) 形式

- ・ファイル形式 マルチセッション化せずにディスクアットワンスで書き込む
ロングファイル名は使用せず「8.3 形式」のファイル名を使用する
ファイルは圧縮せずに格納する、1 枚に入りきらない場合は分割する

^{*2} 磁気テープの調達については、後報とする。

1.2 収録するデータ内容

(1) データの内容

総合目録共通フォーマットに収録するデータの内容については、JAPAN/MARC に準拠して収録する。なお、データの収録について不明の場合は、以下のマニュアルを参照のこと。

- ・「JAPAN/MARC マニュアル - 図書編 - 第1版」

(2) コード体系

- ・英数字モード(1バイトモード) JIS X 0201^{*3} のローマ文字・片仮名用8単位符号を使用する
- ・漢字モード(2バイトモード) JIS X 0208^{*4} を使用する
- ・制御文字符号 JIS X 0202^{*5} を使用する
漢字モードの先頭に漢字モード開始コードを付与する。漢字モード終了コードについては、レコードの末尾の場合は不要とする
- ・漢字モードの制御文字符号 漢文字符号系のための制御文字符号^{*6}は全て削除する

^{*3} JIS X 0201 情報交換用符号

^{*4} JIS X 0208 情報交換用漢文字符号系

^{*5} JIS X 0202 情報交換用符号の拡張法

^{*6} JIS X 0207 情報交換用漢文字符号系のための制御文字符号

2. レコード構成

データフィールドは、次の2つの部分から構成される。

- ・レコード管理部
- ・データ部

該当書誌のフィールド分のデータフィールドが集まったものが書誌レコードとなる。

書誌レコードが集まったものが抽出データとなる。

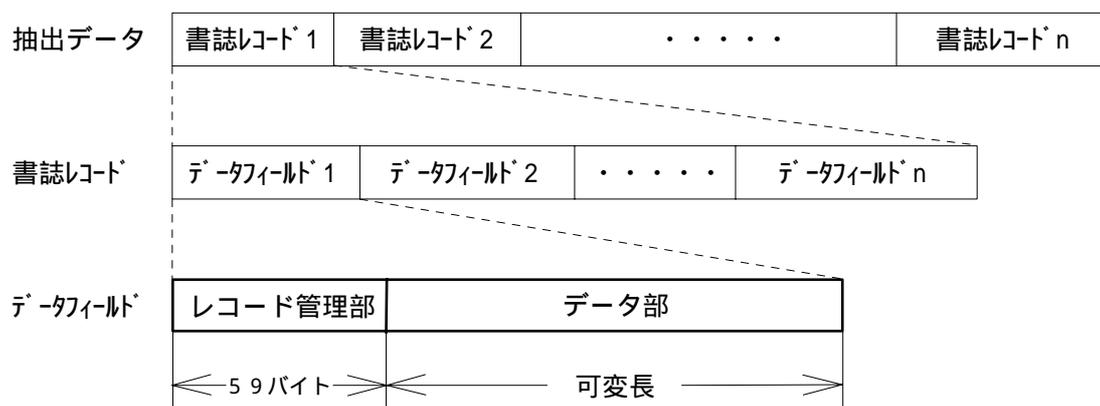


図2 - 1 抽出データの論理データ形式

2.1 レコード管理部

データアクセスの索引となる部分であり、レコード管理部に異常やレコード管理部とデータ部との不整合が発見された場合は、フォーマットが壊れていると判断し、該当データ全体の登録が行なえません。

(1) レコード管理部レイアウト

項番	1	2	3		4		5		6		7		8		9
項目名	リンク繰返数	フィールド繰返数	リンク(1)		リンク(2)		リンク(3)		リンク(4)		フィールド(1)		フィールド(2)		データ部のバイト数
			リンク名	添字	リンク名	添字	リンク名	添字	リンク名	添字	フィールド名	添字	フィールド名	添字	
属性	9	9	X	9	X	9	X	9	X	9	X	9	X	9	9
長さ	1	1	2	7	2	7	2	7	2	7	5	3	5	3	5

図2 - 2 レコード管理部レイアウト

本フォーマットでは、1フィールド名(フィールド識別子+サブフィールド識別子)を1レコード(1データフィールド)として格納する。

本フォーマットでは、レコード管理部の「リンク繰返数」、「フィールド繰返数」、「リンク(1)」、「フィールド(1)」、「データ部のバイト数」(網掛け部分)のみを有効なデータとして収録する。

(2) レコード管理部要素

レコード管理部の構成項目を「表2-1 レコード管理部要素」に示す。なお、今回有効なデータとして収録する項目は、網掛け部分とする。

表2-1 レコード管理部要素

項番	項目名	サブ項目名	属性	長さ	備考
1	リンク繰返数		9	1	“4”を固定で収録
2	フィールド繰返数		9	1	“2”を固定で収録
3	リンク(1)	リンク名	X	2	“BB”を固定で収録
		添字	9	7	書誌(レコード)単位に連番を付与
4	リンク(2)	リンク名	X	2	スペースを収録
		添字	9	7	“0000000”を収録
5	リンク(3)	リンク名	X	2	スペースを収録
		添字	9	7	“0000000”を収録
6	リンク(4)	リンク名	X	2	スペースを収録
		添字	9	7	“0000000”を収録
7	フィールド(1)	フィールド名	X	5	フィールド識別子、サブフィールド識別子を収録
		添字	9	3	フィールド名対応番号を収録
8	フィールド(2)	フィールド名	X	5	スペースを収録
		添字	9	3	“000”を収録
9	データ部のバイト数		9	5	データ部のバイト数を収録

(3) レコード管理部要素詳細

(A) リンク繰返数

- ・ “4” (JIS X 0201 (34)₁₆) を収録する。

(B) フィールド繰返数

- ・ “2” (JIS X 0201 (32)₁₆) を収録する。

(C) リンク(1)

(a) リンク名

- ・ “BB” (JIS X 0201 (4242)₁₆) を収録する。

(b) 添字

- ・ 抽出処理毎の書誌単位に “1” から 7 桁の 10 進数 (右詰、7 桁に満たない場合は、ゼロ (“0” は、JIS X 0201 (30)₁₆) を補う) の連番を付与し、収録する。

(D) リンク(2) ~ (4)

(a) リンク名

- ・ スペース (JIS X 0201 (20)₁₆) を収録する。

(b) 添字

- ・ “000000” (“0” は、JIS X 0201 (30)₁₆) を収録する。

(E) フィールド(1)

(a) フィールド名

- ・ 書誌データまたは所蔵ローカルデータのフィールド識別子とサブフィールド識別子とを合わせて 5 桁 (左詰、5 桁に満たない場合は、スペース (JIS X 0201 (20)₁₆) を補う) でフィールド名に収録する。

(b) 添字

- ・ 書名や著者名等「カタカナ(ヨミ)」と「漢字」が発生するデータ項目について、組となるように同一の 3 桁の 10 進数 (右詰、3 桁に満たない場合は、ゼロ (“0” は、JIS X 0201 (30)₁₆) を補う) の添字を付与して収録する。

例 1) 著者標目【フィールド識別子：751】

注：“_” は、スペースを示す。

	フィールド名	添字	データ部
カタカナ形	751A_	001	トガワ, ツグオ
漢字形	751B_	001	外川 継男
カタカナ形	751A_	002	オオバ, ミナコ
漢字形	751B_	002	大庭 みな子

- ・ また、組にならない場合は添字にフィールド名毎の 3 桁の 10 進数 (右詰、3 桁に満たない場合は、ゼロ (“0” は、JIS X 0201 (30)₁₆) を補う) の連番を付与して収録する。

例 2) 著者標目【フィールド識別子 : 7 5 1】

注：“_”は、スペースを示す。

	フィールド名	添字	データ部
カタカナ形	751A_	001	トガワ, ツグオ
カタカナ形	751A_	002	カガ, ユウジ
漢字形	751B_	001	外川 継男
漢字形	751B_	002	大庭 みな子

(F) フィールド (2)

(a) フィールド名

- ・スペース (JIS X 0201 (20)₁₆) を収録する。

(b) 添字

- ・“000” (“0” は、JIS X 0201 (30)₁₆) を収録する。

(G) データ部のバイト数

- ・データ部に収録されているデータのバイト数を 5 桁の 10 進数 (右詰、5 桁に満たない場合は、ゼロ (“0” は、JIS X 0201 (30)₁₆) を補う) を収録する。

2.2 データ部

(1) 収録データ

- ・「データ部」(図 2 - 1 参照) に収録するデータは、「3. データ要素」に示すデータとする。
- ・「書誌データ一覧表」(表 2 - 3) のアクセスポイントブロックのカタカナ形の属性は、『N』(2 バイトモード) とする。
- ・収録するデータ項目として必須となる項目を、「表 2 - 2 抽出データの必須項目」および「書誌、所蔵ローカルデータ一覧表」(表 2 - 3、表 2 - 4) 中の網掛け部分に示す。

表 2 - 2 抽出データの必須項目

項番	フィールド名	項目名
1	000__	管理データ
2	001__	レコード識別番号
3	100A_	一般的処理データ
4	251A_	書名と著者に関する事項の書名
5	551B_	書名標目の漢字形
6	801A_	国名コード (レコード作成機関)
7	801B_	作成図書館コード ^{*7} (レコード作成機関)
8	801C_	レコード提供年月日 (レコード作成機関)
9	950A_	各館のユニークなコントロール番号
10	960A_	所蔵館コード ^{*3} (ローカルデータ)
11	960B_	所蔵館略称 (ローカルデータ)

注：“_”は、スペースを示す。

^{*7} 図書館コードは、別紙「図書館コード一覧表」を参照。なお、新規参加館については、対象館が決定次第図書館コードを付与するものとする。

- ・「表2 - 3 書誌データ一覧表」の「サブフィールド識別子」欄に 印がある項目（準必須項目）については、書誌同定キー項目として想定しているため、該当データがあれば必ず収録する。また、他の項目についても可能な限り収録する。
- ・以下に示す3つの「フィールド識別子」については、データ出力不要とする。（国立国会図書館は除く）

フィールド識別子：020（全国書誌番号）

905（国立国会図書館の請求記号）

906（国立国会図書館の印刷カード番号）

- ・収録する順番はフィールド名の昇順とする。

ただし、対で繰り返しの場合は、添字と組になっているフィールド名の昇順でソートする。

例	フィールド名	添字		収録順序
	251A	001	→	251A 001
	251B	001		251B 001
	251D	001		251D 001
	251F	001		251F 001
	251A	002		251A 002
	251B	002		251B 002
	251D	002		251D 002
	251F	002		251F 002

3. データ要素

3.1 データ要素一覧

(1) 書誌データ

・ 網掛け部：必須項目

・ 印：準必須項目

表2 - 3 書誌データ一覧表

ブロック名称	フィールド識別子	項目名	サブフィールド識別子	サブ項目名	属性	長さ	反復	備考
識別ブロック	000	管理データ			X	2 4		
	001	レコード識別番号		レコードコントロール番号	X	1 6		
	010	国際標準図書番号	A	I S B N	X	V	R	固定長で収録する場合は、13 桁左詰めとし、2007 年(平成 19 年)1 月以降は、17 桁左詰めとする
	011	国際標準逐次刊行物番号	A	I S S N	X	9	R	
	020	全国書誌番号	A	国名コード	X	2		IS03166 による日本の国名コード(JP)
			B	全国書誌番号	X	8		
	090	マーク番号	A	マーク種別	X	3	R R	
			B	マーク番号	X	1 2		
コード化情報ブロック	100	一般的処理データ	A	ファイルに入れた日付	X	8		西暦年月日
				予備	X	1		空白
				刊行年(出版年)	X	4		西暦年
				予備	X	4		空白
				対象利用者コード	X	3		C = 児童書, D = 試験物, それ以外空白
				官庁刊行物コード	X	1		H, それ以外空白
				改変レコードコード	X	1		0=JIS 外字なし 1=JIS 外字あり
				目録用言語コード	X	3		LC の言語コード
				予備	X	1		空白
				キャラクタ・セット	X	4		90:JIS X0208 91:JIS X0201
	予備	X	5		空白			
	101	著作の言語 (翻訳ものに適用)	A	テキストの言語	X	3		言語コード
C			原文の言語	X	3		言語コード	
記述ブロック	251 ~ 259	書名と著者に関する事項	A	書名	N	V		
			B	副書名	N	V		
			D	巻次, 回次, 年次等	N	V		
			F	著者表示	N	V	R	
			W	資料種別表示	N	V		
	265	版に関する事項	A	版に関する事項	N	V		

・網掛け部：必須項目

・印：準必須項目

ブロック名称	フィールド識別子	項目名	サブフィールド識別子	サブ項目名	属性	長さ	反復	備考
記述ブロック	270	出版に関する事項	A	出版地	N	V		
			B	出版者	N	V		
			D	出版年月	N	V		
	275	形態に関する事項	A	ページまたは冊数	N	V		
			B	大きさ	N	V		
	280	叢書名に関する事項	A	叢書名	N	V		
			B	叢書番号	N	V		
			D	副叢書名	N	V		
			F	副叢書番号	N	V		
	291～ 299	多巻ものの各巻の 書名と著者に関する事項	A	各巻書名	N	V		
			B	副書名	N	V		
			D	巻次、回次、年次等	N	V		
			F	著者表示	N	V	R	
	350	一般注記	A	一般注記	N	V	R	
354	原書名注記	A	翻訳書の原書名	N	V	R		
360	装丁と定価に関する注記	A	装丁	N	V			
		B	定価	N	V			
377	内容に関する注記	A	内容に関する注記	N	V	R		
アクセス・ポイント・ブロック	551～ 559	書名標目 (副書名、原書名も含む)	A	カタカナ形 (正規化)	N	V	R R	
			B	漢字形 (正規化)	N	V		
			D	巻次等の読み (正規化)	N	V		
	577	内容細目 (書名)	A	内容細目の書名の読み カタカナ形 (正規化)	N	V	R R	
			B	内容細目の書名 漢字形 (正規化)	N	V		
	580	叢書名標目	A	カタカナ形 (正規化)	N	V	R R	
			B	漢字形 (正規化)	N	V		
			D	叢書番号の読み (正規化)	N	V		
	591～ 599	多巻ものの各巻の 書名標目 (各巻の副書名も含む)	A	カタカナ形 (正規化)	N	V	R R	
			B	漢字形 (正規化)	N	V		
			D	巻次等の読み (正規化)	N	V		
	650	個人件名標目	A	カタカナ形 (正規化)	N	V	R R	
			B	漢字形 (正規化)	N	V		
	658	一般件名標目	A	カタカナ形 (正規化)	N	V	R R	
B			漢字形 (正規化)	N	V			
677	NDCによる分類記号	A	分類記号	N	V	R		

・網掛け部：必須項目

・印：準必須項目

ブック名称	フィールド識別子	項目名	サブフィールド識別子	サブ項目名	属性	長さ	反復	備考
アクセス・ポイント・ブック	685	N D L 分類による分類記号	A	分類記号(カナ付き)	N	V	R	
	751~759	著者標目	A	カタカナ形(正規化)	N	V	R R	
			B	漢字形(正規化)	N	V		
	770	出版者	A	出版者読み(カナ)(正規化)	N	V	R R	
			B	出版者(漢字)(正規化)	N	V		
	777	内容細目(著者)	A	内容細目の著者名の読み(カナ)(正規化)	N	V	R R	
			B	内容細目の著者名(漢字)(正規化)	N	V		
	791~799	多巻ものの各巻著者標目	A	カタカナ形(正規化)	N	V	R R	
B			漢字形(正規化)	N	V			
ユーザブック	801	レコード作成機関	A	国名コード	X	2		
			B	作成図書館コード	X	4		
			C	レコード提供年月日	X	8		
	905	国立国会図書館の請求記号	A	請求記号	N	V		
	906	国立国会図書館の印刷カード番号	A	印刷カード番号	X	V		

(2) 所蔵ローカルデータ

表2-4 所蔵ローカルデータ一覧表

・網掛け部：必須項目

ブック名称	フィールド識別子	項目名	サブフィールド識別子	サブ項目名	属性	長さ	反復	備考
所蔵ローカルデータ	950	各館のユニークなコントロール番号	A	コントロール番号	X	16		フィールド識別子“001”と同一
	960	ローカルデータ	A	所蔵館コード	X	4		フィールド識別子“801B”と同一
			B	所蔵館略称	N	V		
			D	所蔵館の請求記号	X	V		
			E	所蔵館の図書登録番号	X	V		
			F	禁帯出等を示す注記	N	V		
			G	配置場所	N	V		
			H	資料区分(郷土資料)	X	1		

3.2 収録データの正規化の仕様

(1) アクセス・ポイント・ブロックのカタカナ形、漢字形の正規化

アクセス・ポイント・ブロックのカタカナ形、漢字形について正規化を行う。
正規化についての仕様を以下に示す。

- ・分かち書きされたデータは、分かちスペースを詰める（漢字形のみ）。
- ・以下の特殊文字は、スペースに置き換える。

表 2 - 5 正規化対象の特殊文字

項番	特殊文字	名 称	JIS X 0201
1	‘ [’	始めきっこう（亀甲）括弧	(214C) ₁₆
2	‘] ’	終わりきっこう（亀甲）括弧	(214D) ₁₆
3	‘ [’	始め大括弧、始め角括弧	(214E) ₁₆
4	‘] ’	終わり大括弧、終わり角括弧	(214F) ₁₆
5	‘ ’	始め山括弧	(2152) ₁₆
6	‘ ’	終わり山括弧	(2153) ₁₆
7	‘ < ’	不等号（より小）	(2163) ₁₆
8	‘ > ’	不等号（より大）	(2164) ₁₆

- ・連続してスペースが続く場合、スペース1文字に詰める。
- ・先頭がスペースの場合、削除して詰める。
- ・著者、個人件名の場合、姓と名の間にカタカナ形については“ , ”（コンマ：JIS X 0208 (2124)₁₆）、漢字形については“ ”（双柱、平行：JIS X 0208 (2142)₁₆）を収録する。
- ・一般件名の細目の直前に“ ”（双柱、平行：JIS X 0208 (2142)₁₆）を収録する。

(2) 制御文字コードの正規化

- ・漢字モードの先頭に、漢字モード開始コード（制御文字コード【(1B)₁₆(24)₁₆(42)₁₆】）^{*8}を付加して収録すること。
- ・漢字モード終了コードについては、レコードの末尾の場合は不要とする。
- ・漢字符号系のための制御文字符号（上つきや下つき、合成の開始や終了）^{*9}は、全て削除する。

(3) 外字コードの正規化

- ・抽出データに外字が含まれる場合は、全て“ ■ ”（げた記号：JIS X 0208 (222E)₁₆）に置き換えて収録する。

^{*8} JIS X 0202 情報交換用符号の拡張法

^{*9} JIS X 0207 情報交換用漢字符号系のための制御文字符号

3.3 データ要素詳細

書誌データ、所蔵ローカルデータの各項目について以下に示す。なお、ここで記述のない項目については、参考文献（JAPAN/MARC マニュアル）を参照のこと。

(1) 管理データ【フィールド識別子：000】（必須項目）

管理データのレイアウトを以下に示します。（24桁固定）

項目名	空白	レコードステータス	書誌的状況レコード		空白（スペース）
			レコードの種類	書誌レベル	
属性	X	X	X	X	X
バイト数	5	1	1	1	16

図3 - 1 管理データのレイアウト

(A) レコードステータス

- ・新規の書誌・所蔵ローカルデータの場合、“N”（新規レコード）とする。
新たに所蔵した資料の内、書誌データが新規に発生したデータを対象とする（複本登録データは、対象外とする）。
また、抽出するデータ項目は総合目録共通フォーマットに示す書誌情報と所蔵ローカルデータとする。
- ・変更データの場合、“C”（訂正レコード）とする。
書誌データ、所蔵ローカルデータに変更が生じたデータを対象とする。
また、抽出するデータ項目は総合目録共通フォーマットに示す書誌情報と所蔵ローカルデータとする。
- ・削除データの場合、“D”（削除レコード）とする。
除籍や移管等によって、1冊の所蔵もなくなった資料を対象とする。
複本の除籍データ等は、対象外とする。また、抽出するデータ項目は以下の4つのフィールド識別子のみで可とする。
(フィールド識別子：001、801、950、960)

(B) レコードの種類

- ・言語資料で印刷物のものは、“A”を収録する。
- ・非図書（フィールド名“251W”があるもの：マイクロ、録音、点字等）については、

“H”を収録する。

(C) 書誌レベル

- ・ “M” (和図書) を固定で収録する。

(2) レコード識別番号【フィールド識別子：001】(必須項目)

- ・ 各参加図書館で利用している図書館システム(パッケージ等)で、書誌を管理しているユニークな番号(書誌番号等)を16桁(左詰め、16桁に満たない場合はスペースを補う)で収録する。

(3) 国際標準図書番号【フィールド識別子：010】

- ・ ISBN番号は、“-”(ハイフン：JIS X 0201 (2D)₁₆)もセットして収録する。
- ・ セットもの場合、各冊のISBN番号を添字“001”、セットのISBN番号を添字“002”のレコードとして出力する。
- ・ 書誌同定項目として使用するため、あれば必ず収録する。
- ・ データを固定長で収録する場合は、13桁の左詰(13桁に満たない場合はスペースを補う)とし、2007年(平成19年)1月以降は、13桁ISBNコード対応のため17桁の左詰(17桁に満たない場合はスペースを補う)とする。

(4) 国際標準逐次刊行物番号【フィールド識別子：011】

- ・ ISSN番号は、“-”(ハイフン：JIS X 0201 (2D)₁₆)もセットして9桁で収録する。
- ・ セットもの場合、各冊のISSN番号を添字“001”、セットのISSN番号を添字“002”のレコードとして出力する。

(5) マーク番号【フィールド識別子：090】

- ・ サブ項目に収録する内容について、以下に示す。
- ・ マーク種別とマーク番号は、同一の添字を付与し対応が分かるようにする。
- ・ 書誌同定項目として使用するため、あれば必ず収録する。
- ・ 国立国会図書館以外でJAPAN/MARCを収録している図書館は、このフィールドにJAPAN/MARCを収録する。

(A) マーク種別

- ・ 使用しているマークについてマーク種別を3桁のコードにて収録する。
- ・ 収録するマーク種別のコードを以下に示す。

JAPAN/MARC	“JP_” (注：“_”は、スペースを示す。)
TRCマーク	“JLA”
日販マーク	“NPL”
大阪屋マーク	“OPL”
紀ノ国屋マーク	“KN_”

上記以外のマークについては、別途問い合わせ願います。

(B) マーク番号

- ・ 左詰めで収録し、12桁に満たないときはスペース(JIS X 0201 (2D)₁₆)を補う。

(6) 一般的処理データ【フィールド識別子：100A】(必須項目)(35桁固定)

- ・サブ項目には、収録可能な項目については極力収録し、収録不能項目にはスペース (JIS X 0201 (20)₁₆) を収録する。
- ・予備項目は、スペース (JIS X 0201 : (20)₁₆) を収録する。
- ・サブ項目に収録する内容について、以下に示す。

(A) ファイルに入れた日付

- ・書誌データの管理日付 (参加図書館システムでデータ登録した日付等) を西暦8桁 (YYYYMMDD) で収録する。

(B) 刊行年 (出版年)

- ・出版された年を西暦4桁 (YYYY) で収録する。

(C) 対象利用者コード

- ・次のコードを収録する。

児童書	“C” を収録
試験物 (参考書)	“D” を収録
上記以外	スペースを収録

(D) 官庁刊行物コード

- ・次のコードを収録する。

官庁刊行物資料	“H” を収録
それ以外の資料	スペースを収録

(E) 改変レコードコード

- ・次のコードを収録する。

JIS外字なし	“0” を収録
JIS外字あり	“1” を収録
識別不可の場合	スペースを収録

(F) 目録用言語コード (目録上の記載言語)

- ・次のコードを収録する。

国内刊行和図書	“JPN” を収録
国内刊行洋図書	“ENG” などを収録
識別不可の場合	スペースを収録

(G) キャラクタ・セット

- ・“9091” を収録する。(文字コードとして、90はJIS X 0208、91はJIS X 0201を使用することを表す。)

(7) 著作の言語【フィールド識別子：101】

- ・外国語から日本語に翻訳された図書にのみ適用する。
- ・サブ項目に収録する内容について、以下に示す。

テキストの言語	“JPN” を収録
原文の言語	LC言語コード (JAPAN/MARCマニュアルを参照) にて収録

(8) 書名と著者に関する事項【フィールド識別子：251～259】

- ・サブ項目が、組になるようにフィールド名を収録する。

フィールド名	添字
251A) -- (必須項目)	001～999
251B) 組	001～999
251D)	001～999
251F)	001～999
251W)	001～999
252A)	001～999
252B) 組	001～999
252D)	001～999
252F)	001～999
252W)	001～999

- ・フィールド名‘25nF’（nは1～9の値）（著者表示）については、同一フィールド名内で複数データがある場合は、添字‘001～999’の範囲で繰返して収録する。

(9) 版に関する事項【フィールド識別子：265】

- ・書誌同定項目として使用するためデータがあれば必ず収録する。

(10) 形態に関する事項【フィールド識別子：275】

- ・ページを書誌同定項目として使用するためデータがあれば必ず収録する。

(11) 多巻ものの各巻の書名と著者に関する事項【フィールド識別子：291～299】

- ・サブ項目が、組になるようにフィールド名を収録する。

フィールド名	添字
291A) 組	001～999
291B)	001～999
291D)	001～999
291F)	001～999
292A) 組	001～999
292B)	001～999
292D)	001～999
292F)	001～999

- ・フィールド名‘29nF’（nは1～9の値）（著者表示）については、同一フィールド名内で複数データがある場合は、添字‘001～999’の範囲で繰返して収録する。

(1 2) 書名標目【フィールド識別子：5 5 1 ~ 5 5 9】

- ・サブ項目が、組になるようにフィールド名を収録する。

フィールド名	添字
551A)組	001 ~ 999
551B) -- (必須項目)	001 ~ 999
551D)	001 ~ 999
552A)組	001 ~ 999
552B)	001 ~ 999
552D)	001 ~ 999

- ・同一フィールド名内で複数データがある場合は、添字 ‘ 001 ~ 999 ’ の範囲で繰返して収録する。

(1 3) 内容細目 (書名) 【フィールド識別子：5 7 7】

- ・サブ項目が、組になるようにフィールド名を収録する。

フィールド名	添字
577A)組	001 ~ 999
577B)	001 ~ 999

- ・同一フィールド名内で複数データがある場合は、添字 ‘ 001 ~ 999 ’ の範囲で繰返して収録する。

(1 4) 叢書名標目【フィールド識別子：5 8 0】

- ・サブ項目が、組になるようにフィールド名を収録する。

フィールド名	添字
580A)組	001 ~ 999
580B)	001 ~ 999
580D)	001 ~ 999

- ・同一フィールド名内で複数データがある場合は、添字 ‘ 001 ~ 999 ’ の範囲で繰返して収録する。

(1 5) 多巻ものの各巻の書名標目【フィールド識別子：5 9 1 ~ 5 9 9】

- ・サブ項目が、組になるようにフィールド名を収録する。

フィールド名	添字
591A) 組 001 ~ 999
591B	
591D	
592A) 組 001 ~ 999
592B	
592D	

- ・同一フィールド名内で複数データがある場合は、添字‘001 ~ 999’の範囲で繰返して収録する。

(1 6) 個人件名標目【フィールド識別子：6 5 0】

- ・サブ項目が、組になるようにフィールド名を収録する。

フィールド名	添字
650A) 組 001 ~ 999
650B	

- ・同一フィールド名内で複数データがある場合は、添字‘001 ~ 999’の範囲で繰返して収録する。

(1 7) 一般件名標目【フィールド識別子：6 5 8】

- ・サブ項目が、組になるようにフィールド名を収録する。

フィールド名	添字
658A) 組 001 ~ 999
658B	

- ・同一フィールド名内で複数データがある場合は、添字‘001 ~ 999’の範囲で繰返して収録する。

(1 8) 著者標目【フィールド識別子：7 5 1 ~ 7 5 9】

- ・サブ項目が、組になるようにフィールド名を収録する。

フィールド名	添字
751A) 組 001 ~ 999
751B	
752A) 組 001 ~ 999
752B	

- ・同一フィールド名内で複数データがある場合は、添字‘001 ~ 999’の範囲で繰返して収録する。

(19) 出版者【フィールド識別子：770】

- ・サブ項目が、組になるようにフィールド名を収録する。

フィールド名	添字
770A	001～999
770B	001～999

- ・同一フィールド名内で複数データがある場合は、添字‘001～999’の範囲で繰返して収録する。
- ・書誌同定項目として使用するためデータがあれば必ず収録する。

(20) 内容細目(著者)【フィールド識別子：777】

- ・サブ項目が、組になるようにフィールド名を収録する。

フィールド名	添字
777A	001～999
777B	001～999

- ・同一フィールド名内で複数データがある場合は、添字‘001～999’の範囲で繰返して収録する。

(21) 多巻ものの各巻著者標目【フィールド識別子：791～799】

- ・サブ項目が、組になるようにフィールド名を収録する。

フィールド名	添字
791A	001～999
791B	001～999
792A	001～999
792B	001～999

- ・同一フィールド名内で複数データがある場合は、添字‘001～999’の範囲で繰返して収録する。

(22) レコード作成機関【フィールド識別子：801】(必須項目)

- ・サブ項目に収録する内容について、以下に示す。

国名コード “JP” を収録
作成図書館コード 図書館コード¹⁰を収録
レコード提供年月日 参加図書館でのデータ抽出処理日を収録

¹⁰ 図書館コードは、別紙「図書館コード一覧表」を参照。なお、新規参加館については、対象館が決定次第図書館コードを付与するものとする。

(2 3) 各館のユニークなコントロール番号【フィールド識別子：9 5 0 A】(必須項目)

- ・各参加図書館で利用している図書館システム(パッケージ等)で、書誌を管理しているユニークな番号(書誌番号等)を収録する。
(フィールド識別子：0 0 1(レコード識別番号)と同一内容を収録)

(2 4) ローカルデータ【フィールド識別子：9 6 0】

- ・1書誌1所蔵ローカルデータを収録する。
- ・複本がある場合は、その複本のうちの任意の1冊(1資料)を対象として、データ抽出を行ない収録する。
- ・ローカルデータのサブ項目に収録する内容について、以下に示す。

(A) 所蔵館コード^{*5}【フィールド識別子：9 6 0 A】(必須項目)

- ・各参加図書館毎にユニークなコード(4桁)を収録する。
- ・所蔵館コードは、別紙2 図書館コード一覧表を参照のこと。

(B) 所蔵館略称【フィールド識別子：9 6 0 B】(必須項目)

- ・図書館名称を略称にて収録する。略称については、後報とする。

(C) 所蔵館の請求記号【フィールド識別子：9 6 0 D】

- ・資料の請求記号を収録する。

(D) 所蔵館の図書登録番号【フィールド識別子：9 6 0 E】

- ・資料の図書登録番号を収録する。

(E) 禁帯出等を示す注記【フィールド識別子：9 6 0 F】

- ・資料の禁帯出等を示す注記を収録する。

(F) 配置場所【フィールド識別子：9 6 0 G】

- ・資料を所蔵している場所を収録する。
- ・収録するデータの内容は、参加図書館にて任意とする。(図書館名、配架区分名等)

(G) 資料区分(郷土資料)【フィールド識別子：9 6 0 H】

- ・資料が郷土資料の場合、“L”を収録する。

【参考文献】

JAPAN/MARC マニュアル - 図書編 - 第1版

国立国会図書館編 1992

目録所在情報サービス 利用の手引(第3版)

< 附録7 > 総合目録データベース個別版磁気テープの解説(P.155~)

学術情報センター編 平成5年4月

【引用規格】

JIS X 0201 情報交換用符号

JIS X 0202 情報交換用符号の拡張法

JIS X 0207 情報交換用漢字符号系のための制御文字符号

JIS X 0208 情報交換用漢字符号系

JIS X 6101 情報交換用磁気テープ

JIS X 6104 位相変調(PE)方式による12.7mm幅、9トラック、63cpmm、情報交換用磁気テープの情報記録様式

JIS X 6105 GCR方式による12.7mm幅、9トラック、246cpmm、情報交換用磁気テープの情報記録様式

JIS X 6129 3.81mm幅、ヘリカル走査記録情報交換用磁気テープカートリッジ、DDS-2様式

索引

I

I S B N	9, 14
I S S N	9, 14

N

N D Cによる分類記号	10
N D L分類による分類記号	11

い

一般件名標目	10, 18
一般注記	10
一般的処理データ	7, 9, 15
印刷カード番号	11

お

大きさ	10
-----------	----

か

改変レコードコード	9, 15
各巻書名	10
各館のユニークなコントロール番号	7, 11, 20
刊行年	9, 15
巻次, 回次, 年次等	9, 10
巻次等の読み	10
官庁刊行物コード	9, 15
管理データ	7, 9, 13

き

キャラクタ・セット	9, 15
禁帯出等を示す注記	11, 20

け

形態に関する事項	10, 16
原書名	10
原書名注記	10
原文の言語	9, 15

こ

国際標準逐次刊行物番号	9, 14
国際標準図書番号	9, 14
国名コード	7, 9, 11, 19
国立国会図書館の印刷カード番号	8, 11
国立国会図書館の請求記号	8, 11
個人件名標目	10, 18
コントロール番号	11

さ

作成図書館コード 7, 11, 19

し

出版者 10, 11, 19

出版者読み 11

出版地 10

出版に関する事項 10

出版年月 10

所蔵館コード 7, 11, 20

所蔵館の請求記号 11, 20

所蔵館の図書登録番号 11, 20

所蔵館略称 7, 11, 20

書名 9, 10, 17

書名と著者に関する事項 7, 9, 16

書名標目 7, 10, 17

資料区分 11, 20

資料種別表示 9

せ

請求記号 11

全国書誌番号 8, 9

そ

叢書番号 10

叢書番号の読み 10

叢書名 10

叢書名に関する事項 10

叢書名標目 10, 17

装丁 10

装丁と定価に関する注記 10

た

対象利用者コード 9, 15

多巻ものの各巻著者標目 11, 19

多巻ものの各巻の書名と著者に関する事項 10

多巻ものの各巻の書名標目 10, 18

ち

著作の言語 9, 15

著者表示 9, 10, 16

著者標目 6, 7, 11, 18

て

定価 10

テキストの言語 9, 15

な

内容細目	10, 11, 17, 19
内容細目の書名	10
内容細目の書名の読み	10
内容細目の著者名	11
内容細目の著者名の読み	11
内容に関する注記	10

は

配置場所	11, 20
版に関する事項	9, 16

ふ

ファイルに入れた日付	9, 15
副書名	9, 10
副叢書名	10
副叢書番号	10
分類記号	10, 11

へ

ページまたは冊数	10
----------------	----

ほ

翻訳書の原書名	10
---------------	----

ま

マーク種別	9, 14
マーク番号	9, 14, 25

も

目録用言語コード	9, 15
----------------	-------

れ

レコードコントロール番号	9
レコード作成機関	7, 11, 19
レコード識別番号	7, 9, 14, 20
レコード提供年月日	7, 11, 19

ろ

ローカルデータ	7, 11, 20
---------------	-----------

改版履歴

版次	発行年月	変更内容	章番号
第1版	平成7年2月	・新規作成	-
第2版	平成9年7月	・出力形式のブロック長を4,096バイトから32,000バイトに変更	1.1
		・記録媒体の説明を追加	1.1
		・全件抽出データの記録媒体として、3.81mm幅、ヘリカル走査記録情報交換用磁気テープカートリッジ(DAT)を追加	1.1
		・レコード構成の説明を追加	2.
		・レコード管理部の説明を追加	2.1
		・データの収録順序の説明を追加	2.2
		・巻次・回次・年次等(フィールド識別子:251D)を準必須項目に追加	3.1
		・制御文字コードの正規化を追加	3.2
		・外字の格納方法を外字はJIS X 0208の外字領域にマッピングするから全て“≡”(げた記号:JIS X 0208(222E) ₁₆)を収録するに変更	3.2
		・マーク番号(JAPAN/MARC)の収録について説明を追加	3.3
第2版改訂	平成13年5月	・全件抽出データの記録媒体として、5.25インチサイズCD-Rを追加	1.1
	平成17年11月	・国際標準図書番号を可変長とし、固定長の収録継続を追記	3.3

総合目録共通フォーマット 第2版

平成9年6月発行
平成13年5月改訂
平成17年11月改訂

国立国会図書館
情報処理振興事業協会

目次

1. 出力仕様	1
1.1 記録媒体	1
(1) 情報交換用磁気テープ(1/2インチテープ)の場合	1
(2) 3.81mm幅、ヘリカル走査記録情報交換用磁気テープカートリッジ(DAT)の場合	2
(3) 5.25インチサイズ CD-R の場合	2
1.2 収録するデータ内容	3
(1) データの内容	3
(2) コード体系	3
2. レコード構成	4
2.1 レコード管理部	4
(1) レコード管理部レイアウト	4
(2) レコード管理部要素	5
(3) レコード管理部要素詳細	6
2.2 データ部	7
(1) 収録データ	7
3. データ要素	9
3.1 データ要素一覧	9
(1) 書誌データ	9
(2) 所蔵ローカルデータ	11
3.2 収録データの正規化の仕様	12
(1) アクセス・ポイント・ブロックのカタカナ形、漢字形の正規化	12
(2) 制御文字コードの正規化	12
(3) 外字コードの正規化	12
3.3 データ要素詳細	13
(1) 管理データ【フィールド識別子：000】(必須項目)	13
(2) レコード識別番号【フィールド識別子：001】(必須項目)	14
(3) 国際標準図書番号【フィールド識別子：010】	14
(4) 国際標準逐次刊行物番号【フィールド識別子：011】	14
(5) マーク番号【フィールド識別子：090】	14
(6) 一般的処理データ【フィールド識別子：100A】(必須項目)(35桁固定)	15
(7) 著作の言語【フィールド識別子：101】	15
(8) 書名と著者に関する事項【フィールド識別子：251~259】	16
(9) 版に関する事項【フィールド識別子：265】	16

(1 0) 形態に関する事項【フィールド識別子：275】	16
(1 1) 多巻ものの各巻の書名と著者に関する事項【フィールド識別子：291～299】	16
(1 2) 書名標目【フィールド識別子：551～559】	17
(1 3) 内容細目(書名)【フィールド識別子：577】	17
(1 4) 叢書名標目【フィールド識別子：580】	17
(1 5) 多巻ものの各巻の書名標目【フィールド識別子：591～599】	18
(1 6) 個人件名標目【フィールド識別子：650】	18
(1 7) 一般件名標目【フィールド識別子：658】	18
(1 8) 著者標目【フィールド識別子：751～759】	18
(1 9) 出版者【フィールド識別子：770】	19
(2 0) 内容細目(著者)【フィールド識別子：777】	19
(2 1) 多巻ものの各巻著者標目【フィールド識別子：791～799】	19
(2 2) レコード作成機関【フィールド識別子：801】(必須項目)	19
(2 3) 各館のユニークなコントロール番号【フィールド識別子：950A】(必須項目)	20
(2 4) ローカルデータ【フィールド識別子：960】	20
【参考文献】	21
【引用規格】	21
索引	22
改版履歴	25

表および図中における記号の意味

項番	記載箇所	記号および略号	解 説
1	「書誌データ一覧表」(表2-3 P.8)、 「所蔵ローカルデータ一覧表」(表2-4 P.10)	属性：X	英数字モード(1バイトモード) JIS X 0201 のローマ文字・片仮名用8 単位符号で収録する
2		属性：9	数字モード(1バイトモード) JIS X 0201 の(30) ₁₆ ～(39) ₁₆ の範囲 で収録する
3		属性：N	漢字モード(2バイトモード) JIS X 0208 で収録する
4		長さ：数字	長さ欄に数字が記入されているものは、その数字の文字 数でデータを収録することを示している
5		長さ：V	可変長フィールド
6		反復：R	繰り返し
7		反復：RR	同一のフィールド名内で組で繰り返し (組で繰り返し出来ない時は繰返しで表現)